

校長室だより



豊川市立東部小学校

令和4年1月14日

校内作品展を開催しました

例年はぎょぎょランドを中心に開催されていた「豊川市子ども造形広場」などの作品展が今年度も中止になりました。その代わりに、各校で作品展を開催することになりました。東部小学校では、密にならず、多くの保護者の皆さんにご覧いただける時期を検討した結果、2学期末懇談会と期間を重ねて作品展を開催することにしました。1・3・5年生の図工作品、特別支援学級児童の「若草の子ら展」への出展作品、5・6年生の家庭科代表作品、1～6年生の書写代表作品、「科学にチャレンジ」代表作品を、3か所の多目的スペースに展示しました。

児童についてはクラスごと、授業時間に鑑賞する時間を持ちました。どの作品も、それぞれに思いがこもっており、作品に見入る様子が見られました。



善行児童表彰を受けました

松井小春さんは8月に豊川市社明運動推進委員会から、鈴木菜心さんは1月に豊川市ライオンズクラブから表彰を受けました。両児童はそれぞれ、人柄がすばらしく、日頃から諸活動に積極的に活動する様子から人望が厚く、前期または後期の児童会長として学校の中心になって活躍しています。



新入りさん、紹介！

うさぎの「チョコ」が天国に旅立ち、「ソラ」1羽だけになってしまいました。そんな時、新城市の千郷小学校からうさぎを譲ってもらえるという話をもらいました。2学期の終わりに2羽のうさぎが東部小学校にやってきました。名前は、これから考えていく予定です。4年生の飼育委員の子たちを中心に大事に育ててくれているので、チョコのように、人が大好きなうさぎに育ってってくれるものと思います。



ソラ



〇〇〇〇



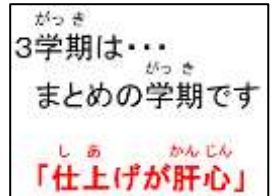
〇〇〇〇

仕上げが肝心

～1月7日 始業式の校長講話より～

みなさん、あけましておめでとうございます。

・・・3学期はまよめの学期です。「仕上げが肝心」とよく言われます。今の自分ができていること、できていないことを見つめなおし、1つ上の学年になる準備をしていってほしいと思っています。校長先生が1学期の始めからよく話をしてきたこと、今年のテーマにしてきた言葉があります。



1つ上の学年になる準備



「やってみよう」です。・・・でも、2学期終わりのみなさんの様子を見ると、寒さのためか、「がんばるぞ！」と思う、心の力が少し弱くなっている子も出てきているように感じました。・・・そんないやな自分が出てきてしまっている子がいたら、もう一度「やってみよう」の気持ちを思い出し、元気な自分を取り戻してください。3学期のスタートはそのチャンスです。

多くの子は、2022年、新しい年を迎えるにあたって、「今年はこのことを頑張るぞ！」と新しい目標を決めて頑張ろうとしているのではないでしょうか。苦手な勉強をがんばろうとしている子、九九を完璧にしようと思っている子、・・・習い事の運動をがんばろうとしている子もいるかもしれません。これからの目標を決めるとき、1つ上の学年にふさわしい自分を想像してみたいと思います。・・・



さて、6年生の皆さんは、どんな6年生で卒業をしていきたいですか。校長先生から、卒業する6年生のみなさんへのお願いは、6年生のもつ「よいもの」を下級生に伝え、東部小に残していってほしいということです。そのためにどんなことができるか、ぜひ6年生みんなで考えてみてください。4月からは、中学生です。中学生になる準備、心の準備もしていってほしいと思います。

みなさんの3学期、それぞれがよい「仕上げ」をしてくれることを楽しみにしています。

みなさんにとって、「ウルトラいい年」になるとよいですね。

